6年度全国学力・学習状況調査結果　田村市の概要

平均正答率（%）による福島県平均・全国平均との比較

		小学校		中学校	
		小６国語	小６算数	中３国語	中３数学
平均正答率	田村市	71	63	56	49
	福島県	66	60	57	48
	全　国	67.7	63.4	58.1	52.5
県との比較（県全体の正答率を 100 としたとき）田村市		小６国語	小６算数	中３国語	中３数学
		107.6	105.0	98.2	102.1
全国との比較（全国の正答率を 100 としたとき）田村市		**小６国語**	**小６算数**	**中３国語**	**中３数学**
		104.9	**99.4**	**96.4**	**93.3**

４月１８日に実施された全国学力・学習状況調査は、例年実施されている国語、算数、数学がペーパーベースで、質問紙調査がタブレット端末によるコンピュータベースで実施されました。結果は、表のとおりです。

平均正答率比較では、小学校の国語科は、全国と県の平均正答率を上回り、算数科は、県の平均正答率を上回ったものの、全国の平均正答率と概ね同じ結果となりました。

国語科は、「言葉の特徴や使い方に関する事項」の問題で全国の正答率を大きく上回りました。一方、「読むこと」で課題が見られました。算数科は、「図形」の問題で全国の正答率を大きく上回りました。一方、「変化と関係」、「データの活用」で課題が見られました。中学校の国語科は、全国と県の平均正答率をやや下回りました。数学科は、県平均正答率を上回ったものの、全国平均正答率を下回る結果となりました。国語科は、「我が国の言語文化に関する事項」の問題で全国の正答率を大きく上回りました。一方、「読むこと」に課題が見られました。数学科は、「データの活用」の問題で全国の正答率をやや上回りました。一方、「数と式」、「図形」に課題が見られました。

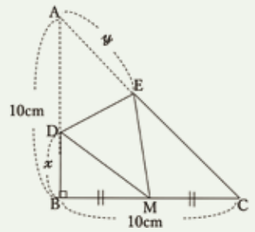
学力向上には、児童生徒にどのような資質・能力を育むのかを明確化した上で、年間指導計画の各単元と全国学力・学習状況調査とを関連付ける工夫するとともに、知識及び技能の「内容知」と、問題解決の方法の「方法知」を身に付けさせる指導が重要です。また、問題発見・解決過程を自ら遂行できるように、主体的・対話的で深い学びの授業実現が重要です。市教育委員会は、今回の結果を受けて、新たに、数学科の授業研究会や、教員の勉強会、そして、英語と算数の得意分野を伸ばし、苦手分野を克服することを目的に、ウインター・チャレンジ・キャンプを実施し、教員の指導力向上と、児童生徒の学力向上を図ります。

たむら市民大学 たまり 挑戦状 NO.2

市民の皆さんに算数・数学に触れ楽しんでもらいたいと思い、問題を出題します。
基本的に福島県算数・数学ジュニアオリンピックから問題を引用しています。

問題

等しい辺の長さが１０cmの直角二等辺三角形ＡＢＣの頂点Ａを、辺ＢＣの中点Ｍに重ねます。
このとき（１）、（２）の問いに答えましょう。
（１）ｘの長さを求めましょう。
（２）ｙの長さを求めましょう。



応募期限　10月25日(金)(必着)

応募方法　●解答用紙に名前、年齢を明記してください。
●郵送・直接持参・オンライン申請にて受け付けます。

応募先　●田村市教育委員会学校教育課
・〒963-4393
田村市船引町船引字畑添76番地2
・田村市HPより
オンライン申請

問合せ　☎81-1214

げんきアップ通信 No.5

STOP メタボリックシンドローム

メタボリックシンドローム（メタボ）とは？

原　因
悪い生活習慣の積み重ね
・運動不足
・食べすぎ
・飲みすぎ
・喫煙　　など

メタボとは
内臓脂肪型肥満
＋
● 高血糖
● 脂質異常症
● 高血圧
（2つ以上該当）

動脈硬化
・血管壁に脂質がたまり、血管内が狭くなる。
・より圧力を加えて勢いよく血液を送り出さねばならず、心臓や血管に負担がかかる。

メタボを予防するためには？　バランスのよい食事、適度な運動、節酒、禁煙を心がけるなど、正しい生活習慣を身につけましょう。

運動のポイント！

日常生活の中で今より 10 分多く体を動かす（プラス 10(テン)）を意識しましょう。

●夕食後に体を動かす
●自宅から駅まで早足で歩く
●できるだけ階段を利用する
●積極的に家事をする
●徒歩で買い物に行く
●車をやめて自転車を使う

メタボ予防に役立つ情報はこちら▼
健康ふくしまポータルサイト

ちょこっとエコライフ ～身近な省エネを実践しよう！～

田村市×獨協大学

vol.14 小型家電を適正にリサイクルしよう！

皆さんは、使用済みの小型家電をどのように処分していますか？小型家電には、鉄、アルミ、金、銀、銅やレアメタルなど、有用金属が含まれており、「小型家電リサイクル法」（2013 年）では、対象品目 28 品目を定めて、リサイクルを進めています。

田村市では、小型家電をもやせないごみ・危険ごみ兼用指定袋 (黒色) に入れて決められた日に収集所に出すことができますが、2023 年 4 月から一部の品目については、本庁または各行政局に設置している回収 BOX で無料回収を行っています。その他の品目については、たむらリサイクルプラザ、たむらクリーンセンターに持ち込んで「小型家電」と申告すると無料で引き取ってもらうことができます。

リチウムイオン電池を使ったバッテリーが内蔵されている小型家電をもえないごみとして出し、その処理の過程で火災が発生する事故が全国で急増しています。また、鉛・水銀などの有害な物質を含むものもあり、指定された適正な方法でリサイクルすることが求められています。

（獨協大学国際環境経済学科 4 年 丹野）

小型家電の分別の注意点についてはこちらをご覧ください▶

今月のごみ量（7月分）

● 1 日 1 人あたりのごみの量：822g　●田村市のごみの量の目標：750 g
● 目標達成まであと：72g 減！
※ 6 月のごみの量と比べて、82g 増！